

ケータイ利用について家族で話し合ってみよう！

ケータイ・スマホ使い方発見キットの使い方

ケータイの利用について話し合うときに大事なことは、普段の生活習慣や趣味のこと、または家族の価値観を話し合うことです。私たちは、ゲームやチャットなど、ケータイが楽しませてくれるからケータイを使うのではありません。自分の生活をより良くするためにケータイを使っているはずで、ですから、どんな生活を望むのか、親として子どもにどのような人になってほしいのかを軸に考えることで、目的意識や正しい使い方のイメージを持つことができるようになります。

■ ケータイの使い方を確認してみよう（別添のケータイ・スマホ使い方発見キットを使います）

「ケータイ・スマホ使い方発見キット」を使って、お子さんやご自身の日ごろのケータイの使い方を再認識してみましょう。

このキットは、普段なんとなく使っている状況をビジュアル化するためのものです。

まだお子さんにケータイを与えていない場合は、与えた場合を想定して考えてみましょう。

【作業1】

切り取り線以下の部分を、白い線に沿って切り取り、小さなカードにする。（これを「目的カード」と呼びます）

【作業2】

目的カードを、台紙の上に並べていきます。目的カードにある使い方が、自分にとってどれくらい重要かを自分なりに考えながら並べます。

【作業3】

並べ終わったら、台紙を眺めながら、次のような質問を投げかけます。（話し合いの進め方は基本的に自由です）

① 家族で共通している部分について、話を深めてみましょう。

例：調べものは私も頼っちゃうな～。緊急連絡もあると安心だね。

② 親子で異なる部分について質問してみましょう。

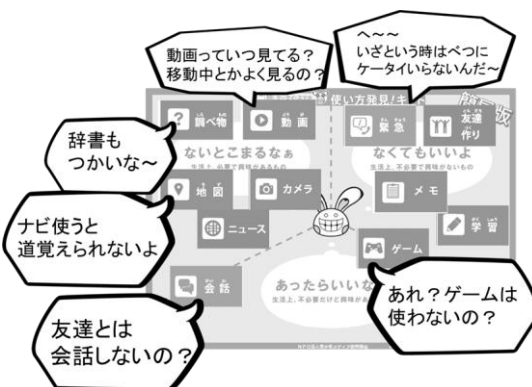
例：ゲームは重要なんだね？どんなゲームをするの？どんな時にやってる？

（無いと困る箇所にあるカードについて）ケータイ無かったらどうする？

③ お子さんにやって欲しいこと、身につけて欲しいことを伝えてみましょう

例：調べものには便利だけど、いろんな方法で調べる術を身につけて欲しいな。

私（親）も頼りすぎているところは注意するよ。



■ 使い方は工夫次第！

1) 経過を観察してみよう

定期的に話し合いの機会を持ち、結果を撮影しておく、使い方の変化の記録を作ることできます。

2) 誰かの使い方を言い当てよう

親は子どもの、子どもは親の、又は兄弟や友達同士で、相手の使い方を言い当ててみる。

■ ルールづくりに活用してみよう！

保護者が考える「お子さんにとっての望ましい使い方」と、実際のお子さんの使い方（使ってみたいと思うもの）に違い（ギャップ）があれば、そこが注意すべき点になります。約束をつくり、意識を持たせながら、徐々にお子さんが考えを変えられるよう支援しましょう。

おうちの方へ

話し合いは互いを理解するためのものです。できるだけ素直な自分の気持ちが表現できるよう、会話の雰囲気をもたせてください。